

## 基本施策E8 安全・安心で快適な公共空間をつくります

主管課：土木企画課

### 個別施策

- E8-1 だれもが安全・快適に利用できる道路の整備を進めます
- E8-2 安全・安心な市有建築物への改善を進めます
- E8-3 だれもが快適に利用できる公園への再整備を進めます
- E8-4 地域環境美化を推進します

### ア 施策の目的

公共空間が、安全・安心で快適に利用されている。

### イ 基本施策の評価

C b 目標を一部達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる

### ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
車みち整備箇所 数[累計]	2箇所 (26年度)	↑	目標値	10	16	22	26	27	27
			実績値	9	17	20	25	25	25
			達成率	90.0%	106.3%	90.9%	96.2%	92.6%	92.6%
市有建築物の耐 震化率(学校・市 営住宅を除く)	87.1% (26年度)	↑	目標値	91.0	92.4	93.4	94.4	95.0	95.9
			実績値	91.7	92.5	93.5	94.2	94.9	95.2
			達成率	100.8%	100.1%	100.1%	99.8%	99.9%	99.3%
バリアフリー化 した公園の箇所 数[累計]	47箇所 (26年度)	↑	目標値	53	56	59	62	65	69
			実績値	54	59	60	62	67	69
			達成率	101.9%	105.4%	101.7%	100.0%	103.1%	100.0%

### エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

### オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

#### カ 審議会における施策推進に向けた提案

(1)京都市では、市が持っている廃校等を民間に開放して活用している。長崎市でも市庁舎の建替え等に伴い不要となる建物や、少子化で使用されない学校も増えてくる。環境の面からも、古いからすぐに壊すのではなく、壊す前に一度民間に使えないかと声をかけるなど、活用を検討していただきたい。まちの活性化のためでもあるが、まちの記憶が残ることが重要である。